

# 仕事が辛い

悩めるあなた、丸ごと受け止めます!

志茂田景樹の 連載第6回

# あたためるコトバ

Profile 1940年静岡県生まれ。さまざまな職業を経て'76年に小説家デビュー、'80年に直木賞受賞。執筆の傍ら、テレビでも活躍。不登校児の支援など、社会的活動にも携わっている。

Twitterでの人生相談が大反響の志茂田景樹先生が、読者のお悩みに答えます!

## 態度の悪いアルバイトに手を焼いています

Y・Fさん (46歳)

飲食店でアルバイト学生のまとめ役をしているのですが、その中の一人が問題児です。茶髪で濃い化粧、敬語も使えず、しかも遅刻常習犯。ダラダラした態度に、お客様からも苦情がちらほら。このままではほかの学生たちにも悪影響が出そうで困っています。

まずは「正しく叱る」。あとは相手次第です。ここはビシビシしつけてOK。ただし、怒るだけではダメです。化粧にしろ遅刻にしろ、まず「なぜそうするのか、したいのか」と相手の気持ちを聞き、その上で「なぜ、それをしてはいけないか」を言うのが必須なんです。職場だけでなく家庭でも、それをせずに「怒るだけ」の人が多くですね。この「正しい叱り方」に、相手がウンザリして辞めていくなら、その程度の子だったということ。



あなたが気に病むことはありません。でも、もし相手が「この人の言うことはもっともだ!」と気づけば……店の戦力になるくらい、成長してくれることでしょう。

## カゲキ先生に相談したい お悩みはこちらへ!

①氏名②掲載希望名③年齢④住所⑤電話番号⑥メールアドレス⑦お悩みの内容」を記載のうえ、下記の宛先までメールまたは郵便でお寄せください(電話またはメールで、お悩みに関する質問をさせていただくことがあります)。お悩みが掲載された方には図書カード¥2,000分をプレゼントします。

【宛先】●メール kageki@karakoto.com ●郵便 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-44-2 神田TNKビル5F からだにいいこと編集部「あたためるコトバ」係

今月の

## KAGEKI FASHION

執筆に向かう日のTシャツスタイル。イエロー基調の優しい色合いに、ブルーをきかせてさわやかに。



## ミスの多い私。 できる人になりたい!

T・Nさん (46歳)

アルバイトを始めて1年半。同時に入った友人はスピーディにミスなくこなすのに、私はミス連発の「できない人」状態。上司は優しくフォローしてくれますが……。いい働き手になるにはどうすればいいですか?

僕が通っていたお茶教室の仲間も、長い間作法を覚えられなくて苦勞していましたが、6年後の今、なんと師匠になっていました。そんな「不器用さん」の特徴は、失敗を重ねて、あるとき急成長すること。ただし、ミスして落ち込むだけの人はダメ。成長できる人にあるのは「向上心」です。その点、あなたなら大丈夫。しかも、上司の優しさに気づく素直さも。その気持ちを大事にしつつ、失敗を防ぐ手立てを考え、努力を続けてみて。「集中力が落ちてきたら1分間席を立つ」などの小さな工夫をしていると、きっと「変身」のときが訪れます。

## 困った上司に振り回され 職場の雰囲気も最悪……

R・Sさん (43歳)

上司は50代の独身女性。ヒステリックな性格で仕事ぶりも難アリ。業務の割り振りがあいまいで、言うこともコロコロ変わります。周囲はいつも振り回され、雰囲気はギスギス。そんな職場どう向き合えばいいでしょう?

## 「半径2m」から 改善を図ってみよう

コツは「半径2m」から変えていくことです。近くの同僚にこま

めにお礼を言い、大変でも愚痴を言わず、笑顔をキープ。ギスギスしているなら、まずはあなた自身が職場のオアシスとなるのが、最も早くて効果的な道なんです。雰囲気が良くなると、仕事の成果も上がるもの。そのときは問題の上司に「あなたのおかげ!」と花を持たせて。彼女を難アリと思うのは、一種の優越感でしょうか? それを一段階高めて「助けよう!」と思うこと。それがこのタイプの人とうまくやる秘訣です。「良い空気の輪」を徐々に広げて、最後に上司を取り込む。これができれば、きっと気持ちよく働けるようになるはずですよ。